

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たんより

目標達成計画

作成日：平成 30 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の内容について、家族の住まいもまちまちで遠方の家族もあり、情報が届いていない可能性がある。	定期開催されている運営推進会議の内容を出席している家族だけでなく全ての家族へお知らせする。	家族に分かりやすいような情報を、報告として開催後に書面にし、各家族へ送付する。	1ヶ月
2	49	屋外の散歩ができなかったり難しい場合のプログラムが、現状でなされていない。	天候や職員配置等に関係なく、歩行等の運動プログラムが確立される。	以前、室内歩行を定期的実施していた時期があったが、転倒が多く危険なため中止した経緯がある。各利用者への筋力アッププログラムは存在	3ヶ月
3	52	居心地の良い共用空間作りに留意しており日頃から掃除をこまめに行い清潔に努めているが、換気扇にほこりがたまっていた。	目に見えたりするところだけでなく、換気扇等普段手の届かない所の清潔を保持する。	エアコン掃除と共に、換気扇掃除も定期的に行う。室内だけでなく屋外も清潔にしていく。	1ヶ月
4	35	災害対策について、訓練において夜間の想定や停電想定訓練ができていない。また、入居者一人ひとりの情報が、災害時使用する名札等に記載されていない。	防災訓練において、夜間・停電想定訓練を行う。また、避難時に入居者のADLがわかるよう情報をまとめておく。	夜間想定訓練については、近隣住民の方の協力のもと、期日を設定し行っていく。停電想定連絡訓練は職員に知らせず抜き打ちで行う。避難時の入居者名札にADLや血液型等の情報を記載する。	6ヶ月
5	26	介護計画の説明をケアマネージャーや計画作成担当者が行っているが、家族と他職員も含めたサービス担当者会議を行うことが、入居者全員にできていない。	担当職員だけでなく各職員も交えて介護計画を家族に説明することで、多視点で情報を提供でき、介護サービスについて家族の理解を深めることができる。	各利用者について、家族の都合のよい時に職員も含めたサービス担当者会議を開催し担当職員だけでなく幅広い意見交換を行う。また、家族からも率直な意見をいただく機会とし、お互いの理解を深める。	12ヶ月

6	19	ホームからの入居者の情報提供が医療面や全体的な広報として特化しており、受け持ち職員からの言葉やその時々写真などが伝えられていない。	各入居者のその時々状況を、一人ひとりの紙面を作成し提供していく。	早速3月分より紙面を作成し、送付する。	1ヶ月
7	4	運営推進会議のメンバーについて、現状以上に幅広い立場の方の参加を依頼できると考えられる。	運営推進会議について、多職種の方の参加を依頼していく。	まずは母体会社から薬剤師等の参加を依頼していく。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。